

令和2年度 男女共同参画・女性活躍推進施策の 取組状況について

令和2年8月21日

奈良県 こども・女性局 女性活躍推進課

①女性の活躍推進

課題・これまでの取組

○奈良県女性(20～64歳)の就業率は、全国最下位(62.8%)であるものの、**過去5年間の伸び(6.3ポイント)は全国1位**で、第1子出産後も仕事を継続する割合が5年前の4割から5割に増加しました。
○県内女性の就業の現状分析では、女性の希望と企業の求めるものとの齟齬や、「女性活躍」に関する経営者の認識の遅れが見られるなどの課題があります。

女性の希望をかなえ、女性が活躍できる気運醸成の環境を整備(企業・事業所等に就労継続・再就職支援等の具体的な取組を働きかける)

- ・「なら女性活躍推進倶楽部」を設立しました。
119企業(607事業所)
- ・企業向けセミナー開催、様々な媒体での企業の魅力発信

県内の女子大学生や再就職を希望する女性の就職や活躍し続ける意識を醸成

- ・女性のための再就職応援フェスタの開催
- ・大学生のための就活準備フェアの開催

成果

就職の一步手前の段階にいる女性の就業を支援するため、女性センター内に「女性の再就職準備相談窓口」を開設しました。

令和2年度の取組

女性が就労により能力を発揮できるよう、企業や女性に向けた取組により、**企業での活躍やジョブマッチングなど地域に根ざした新しい仕事場づくり**など様々な働き方での女性活躍を推進します。

企業向けの女性活躍推進のための取組

○なら女性活躍推進倶楽部の企業と連携した取組

- ・異業種交流会等で女性活躍の先進事例を横展開
- ・企業の女性管理職の登用促進
- ・女性活躍が進む企業や、まだ知られていない県内企業の魅力発信

次頁で
説明

働きたい女性、働いている女性への支援

○女性の再就職準備相談窓口でのスキルアップ支援(女性センター)

- ・再就職希望の女性や若年女性に企業情報を提供
- ・再就職の準備段階からの支援

○働く女性の悩み相談(女性センター)

新たな分野にチャレンジする女性への支援

○支援団体と連携した起業を目指す女性の活躍支援

なら女性活躍推進倶楽部の取組(令和2年度)

➤ 倶楽部の概要および令和元年度の取組については「News Letter No.3(資料1-1)」をご覧ください。

取組の柱	取組の方向性	取組	内容
[柱①] 企業の魅力発見・発信	✓ 女性活躍が進む企業や、まだ知られていない県内企業の魅力(特に女性と企業のWIN-WINの働き方)を発信	再就職応援ジャーナルの発行	✓ 昨年度に引き続き、女性の再就職応援ジャーナル「FIELD」を1月に発行予定。(資料1-2)
		若年層に向けた動画による情報発信	✓ 働きやすい職場づくりに取り組む企業を事例とともに発信するため、7月～8月に倶楽部会員企業5社を取材・撮影。10月に完成した動画をネット配信するとともに、関係機関等と連携しながら、就活イベントなど様々な場面での投影を行っていく。
[柱②] 企業と女性が出会う場の提供	✓ 実際の企業を知ってもらうため、再就職希望女性や若年世代に対して、企業と出会う機会を提供	再就職希望女性との交流イベント	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 昨年度に引き続き「女性のための再就職応援フェスタ」をイオンモール大和郡山にて開催(10/6)(資料1-3)。コロナ禍においても再び働きたい人や働き方を変えたい人を、働きやすい職場づくりに取り組む企業への就労につなげていく。 ✓ 昨年度の参加者は53名で、十分とは言えない状況であったため、県民だよりや有料広告の掲載などPRを強化し、集客増につなげていく。
		大学訪問による交流	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 12月に奈良女子大学にて女性活躍推進に関する講義を実施予定。 ✓ その他2大学については、現在調整中。
[柱③] 企業間交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 女性活躍の先進事例を会員企業間で横展開 ✓ 企業の女性社員の定着や管理職登用を支援 	異業種交流会	<ul style="list-style-type: none"> ✓ コロナの拡大により、新しい働き方として注目が高まってきた「テレワーク」をテーマとした第5回異業種交流会をオンラインで実施(8/27)(資料1-4)。 ✓ 第6回のテーマについては未定(令和3年1月～2月開催)
		セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 異業種交流会に続き、「テレワーク」をテーマとした内容を、若手・中堅社員向けにオンラインで実施(9/10)(資料1-5)。 ✓ 10月から11月に若手女性向け、中堅女性向けの実地セミナーを各1回開催予定(会員企業との共催で実施)
[他] 倶楽部運営	✓ 会員増加に向けて、個別訪問を強化	倶楽部会員増加への取組	✓ イベントに興味を持った企業等に個別アプローチすることにより、会員企業の増加を図る(今年度、県から10企業に接触、登録5社(予定含む))
		企画委員会の開催	✓ 9月2日に開催する企画委員会にて、次期計画に関するご意見を伺う。

②家庭生活(子育て)の支援

課題・これまでの取組

○ 奈良県の子育て不安の実態

- 子育て中の**妻の約半数**が**子育ての不安感・負担感**を感じている。
- 家事や育児の分担は妻に偏っている(約8~9割)
- **夫の約半数**が、妻が一番しんどいと感じる「**授乳等、夜泣きの対応**」を全くしていない。
- 2番目にしんどいと感じることは「**子育てが分からない**」こと。

○ 課題

専業主婦率、核家族率全国1位の奈良県において、母親の子育ての不安感・負担感の増大は「産後うつ」「虐待」につながる恐れ

○ これまでの取組

妊娠期からの切れ目のない子育て支援を強化するための市町村体制整備・充実

- 母子保健の拠点である「子育て世代包括支援センター(設置32市町村)」と児童虐待防止対策を含む子育て支援の拠点である「市町村子ども家庭総合支援拠点(設置9市町村)」の設置促進研修会の開催
- 親子が交流や相談ができる場「地域の子育て支援拠点」(県内74ヶ所設置)従事者向け研修会の開催

成果

○「奈良県すべての子ども健やかはぐくみプラン」を策定しました。

令和2年度の取組

親が安心して子育てできる「**家庭**」と「**地域**」をつくっていきます。

妊娠期からの切れ目のない子育て支援

- 教育・保育の利用についての相談、児童預かり等を行う**ファミリーサポートセンターの運営等**に対し市町村を支援
- **地域子育て支援拠点**の運営を通じて、子育て早期からの相談に対応、**市町村子ども家庭総合支援拠点**の設置及び機能強化に向けた支援
- **市町村の子育て世代包括支援センター**を支援
- 市町村のファミリーサポートセンター事業等の従事者に対する**新型コロナウイルス感染症拡大防止研修の実施**

多様な主体による子育て支援環境の整備

- ならコープとの連携で子育て応援「つながる箱」をプレゼント
- 企業が行う「なら子育て応援団」の取組支援
- 保育士養成機関(大学)の公開講座実施を支援

男女が互いに尊重し合い喜びを分かち合う子育ての促進

・(新)奈良県パパ産休プロジェクト

配偶者の産後すぐに夫が休暇をとることの重要性を父親になる男性本人と雇用先の企業に理解してもらうための研修ツールを作成し、「パパ産休」の取得を促進